

令和7年度の出水状況

令和7年11月19日

国土交通省 中部地方整備局
沼津河川国道事務所



① 令和7年9月出水(令和7年9月10日～11日)における降雨の状況

- ◆ 令和7年9月11日の降雨では、前線に伴う降雨により、愛鷹雨量観測所で1時間に83mm、須山雨量観測所で1時間に91mmの雨量を観測し、局地的に猛烈な雨となった。
- ◆ 黄瀬川の本宿水位観測所で氾濫危険水位を超過。
- ◆ 降り始めからの総雨量が200mmを超えた雨量観測所はなく、今回の出水は短時間に集中した降雨によるものであった。

最大60分間降水量(9月10日21時～11日9時まで)

◆黄瀬川

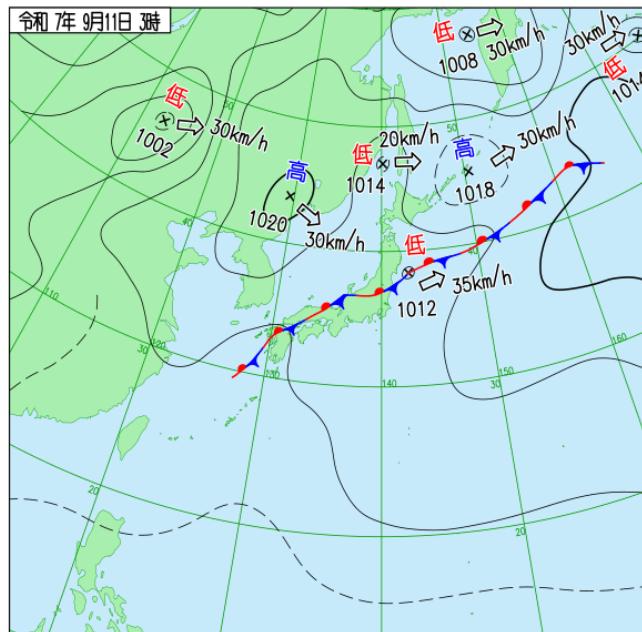
愛鷹雨量観測所で83mm(9/11 3:00～)
須山雨量観測所で91mm(9/11 1:50～)

累加降水量(9月10日21時～11日9時まで)

◆黄瀬川

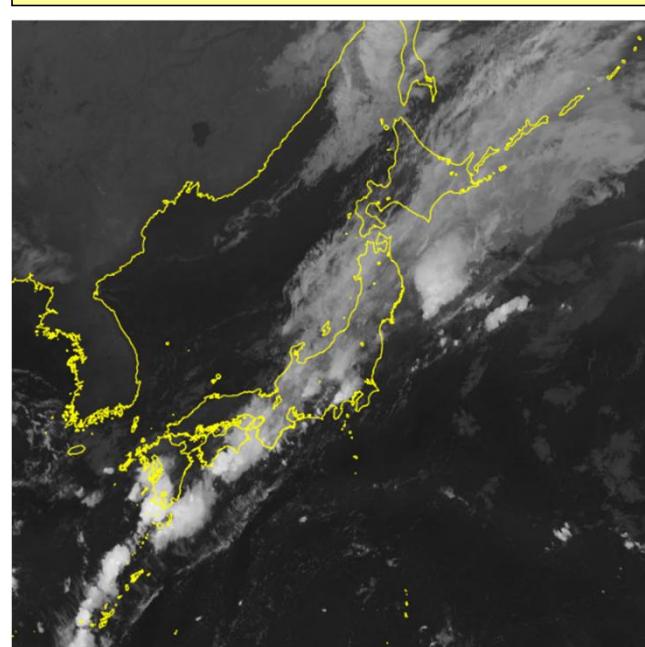
愛鷹雨量観測所で101mm
須山雨量観測所で171mm

天気図



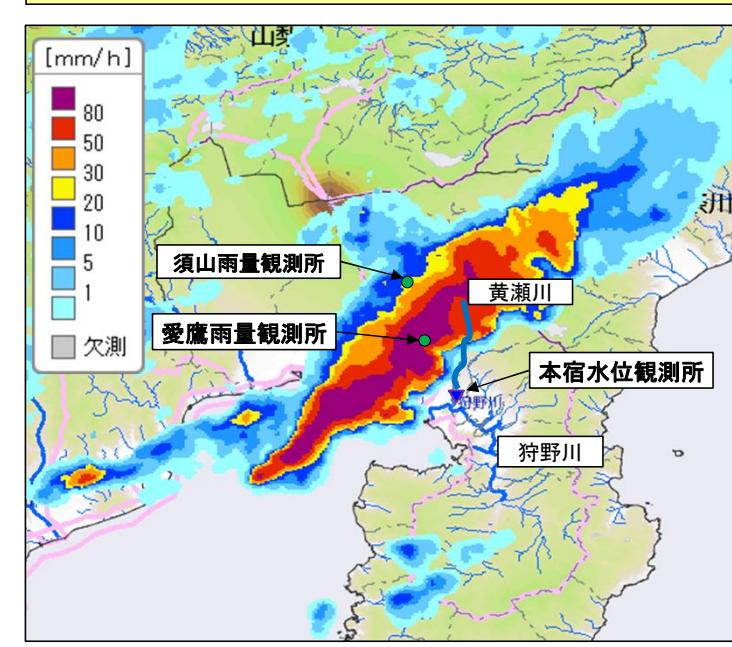
9月11日3時天気図(気象庁HPより)

気象衛星画像



9月11日3時衛星画像(気象庁HPより)

レーダー雨量 (11日3時)



9月11日3時頃の雨量レーダー画像



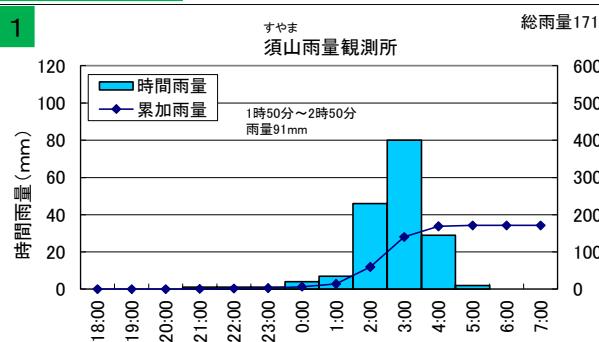
② 令和7年9月出水(令和7年9月10日～11日)における雨量・水位の状況

- ◆ 今回の出水は、本宿水位観測所で氾濫危険水位を超過し、狩野川合流後の黒瀬水位観測所も水位が上昇。
- ◆ 黄瀬川流域を中心とした集中豪雨であり、狩野川本川の基準水位には達しなかったことから、今回の出水で狩野川放水路への分派は行っていない。
- ◆ 黄瀬川本宿水位観測所では、3時40分の-0.07mから3時50分の3.89mに、10分間で3.96m水位が上昇し、避難判断水位まであと0.01mとせまる急激な水位上昇を観測。



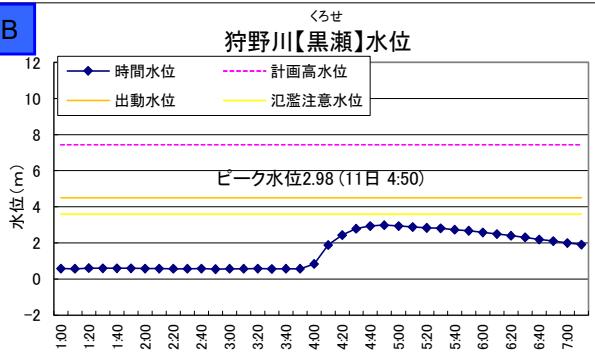
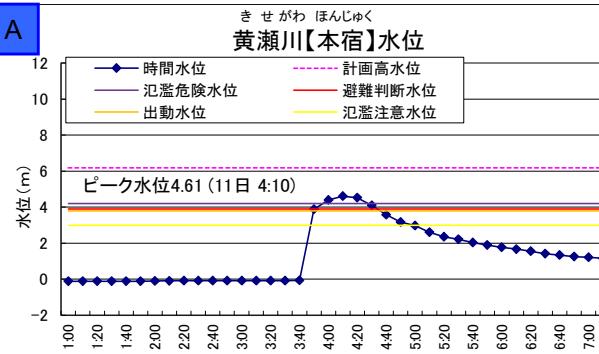
代表的な雨量・水位観測所の状況

累加雨量



※雨量データは暫定値であり、精査の結果、確定値で変わる可能性があります。

水位観測



※水位データは暫定値であり、精査の結果、確定値で変わる可能性があります。

2) 令和7年9月出水状況写真



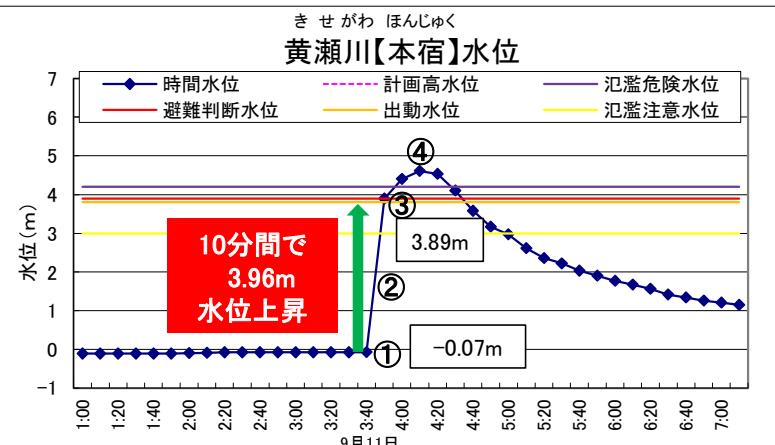
中部地方整備局
沼津河川国道事務所

- ◆ 過去の黄瀬川では、平成20年7月に10分で2.71m、平成26年9月に10分で1.75m、令和6年11月に10分で1.73mの水位上昇を記録。
- ◆ 今回出水はそれらを大幅に上回る記録であった。

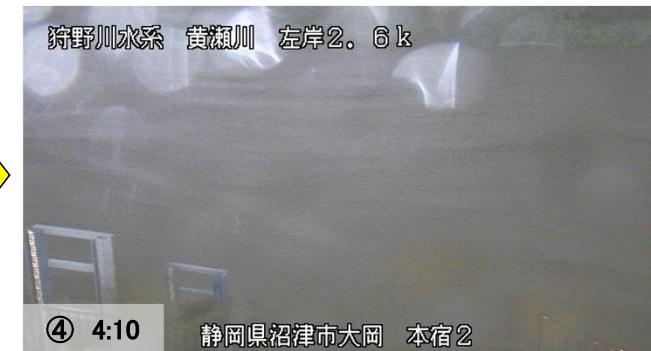
平常時の状況



黄瀬川【本宿】水位状況



今回の出水状況



短時間豪雨により、
上流から一度に
大量の水が
押し寄せる様子



3) 黄瀬川における河川改修事業の効果



中部地方整備局
沼津河川国道事務所

◆ 近年の河道拡幅(黄瀬川橋)【H17～H25】や河道掘削【H30～R2】等を実施したことにより、約0.9mの水位低減により氾濫を回避。

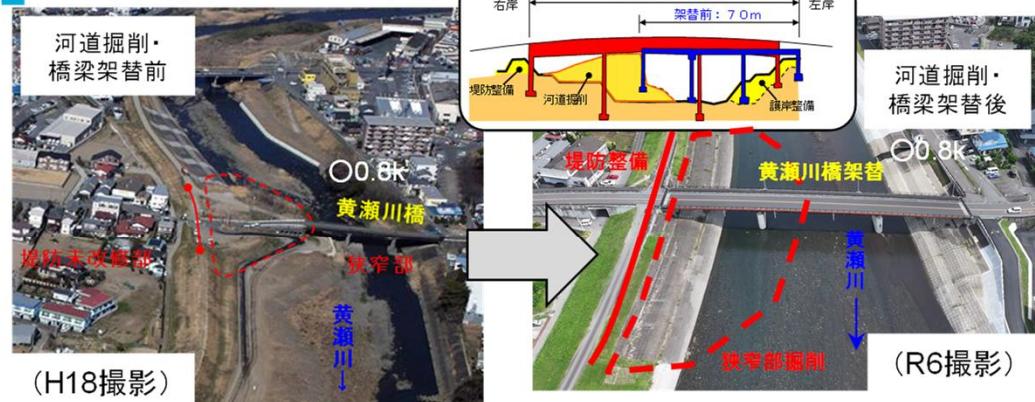
位置図



出水状況



近年実施した河川改修



近年の河道改修箇所



河川整備による 水位低減効果 (0.8k付近)

